

こども家庭庁支援対象児童等見守り強化事業・オンラインセミナー



一般社団法人タウンスペースWAKWAK

2025年3月05日(水)

(一社)タウンスペースWAKWAK

業務執行理事兼事務局長

岡本 工介



一般社団法人 タウンスペースWAKWAK



- 子どもの居場所づくり事業
- コミュニティ・ソーシャルワーク事業（相談・包括支援）
- 障がいのあるないを超えてアートを学ぶ「ボーダレスアート事業」
- 高齢者・障がい者のライフサポート事業
- 大阪北部地震後の被災者支援から地域コミュニティ再生事業
- 市域広域事業
 - ・高槻市みまもりつながり訪問事業（子ども家庭庁支援対象児童等見守り強化事業）
 - ・休眠預金「居場所の包括連携によるモデル地域づくり（全国）」
 - ・子ども家庭庁「ひとり親等の子どもの食事等支援事業」
- 調査・研究開発事業
- 視察受け入れ/講師派遣事業²

「ひとりぼっちのいないまち」

(社会的包摂<インクルーシブ>)



地域・家庭・学校・行政・大学・企業・医療等など
多セクターとの共創により課題解決を図る

- タウンスペースWAKWAK ※ハブとなる組織
- 予算規模 36,078,000円 (2024年度予算)
- 事務局 13名
- 200名以上 (うち有償70名) のボランティアに支えられ実施
- 市域ネットワーク 86団体、152名

高槻市子どもみまもり・つながり訪問事業(概要)



※こども家庭庁支援対象児童等見守り強化事業

○業務内容

未就園児等(保育所等に通っていない原則2歳児から就学前の子ども)のいる家庭等を訪問し状況の把握や学習及び生活支援等を通じた子どもの見守りを実施する。

○実施期間 2021年度～2024年度(4か年)/通算訪問件数:計 1,940 件(対応含)

○業務概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、地域の目が行き届きにくい未就園児等(保育所等に所属していない原則2歳から就学前の子ども)がいる家庭を訪問するなどし、状況の把握や子育てに関する相談、子育て支援サービスの情報提供等、家庭での養育支援を行い、子どもの見守り体制の強化を図る。(所管:子育て総合支援センター)

○実施体制 事業管理者・訪問員として専門職(保育士、社会福祉士等)を配置

高槻市子どもみまもり・つながり訪問事業

訪問

高槻市 委託
 子育て総合支援センター
 〈カンガルーの森〉

受託 事業者
 ○WAKWAK
 ○SEAN

・悩み相談
 ・子育て支援サービスの情報提供
 ・地域のさまざまな支援事業へのつなぎ

○訪問対象家庭
 どこにも所属していない子どものいる家庭
 (2歳児～就学前児童)
 ※芥川東西の2エリアを分担

	0～2歳	3歳～6歳	7歳～18歳
所属あり	保育所・幼稚園		小・中・高
所属なし	健康診査	この部分	教委 (不就学児)

家庭状況
 の把握

市へ報告

**要保護児童
 対策地域協
 議会**
 ※気になる家庭
 等があれば必要
 に応じて

訪問員の募集と育成(メンター制)



市内保育所の元所長や副所長
市民活動等に携わってこられた方々
9名をメンターに。



実践を通した
ノウハウの継承

市内全域から保育士をはじめ様々な子育て支援をされている
子育て層30名が参画。(つどいの広場スタッフ中心に)

※市域全域に受け皿を創る



総勢45名にてみまもり訪問を実施

※担い手の発掘



※4か年を経て「定期訪問の増加」

訪問員研修の実施



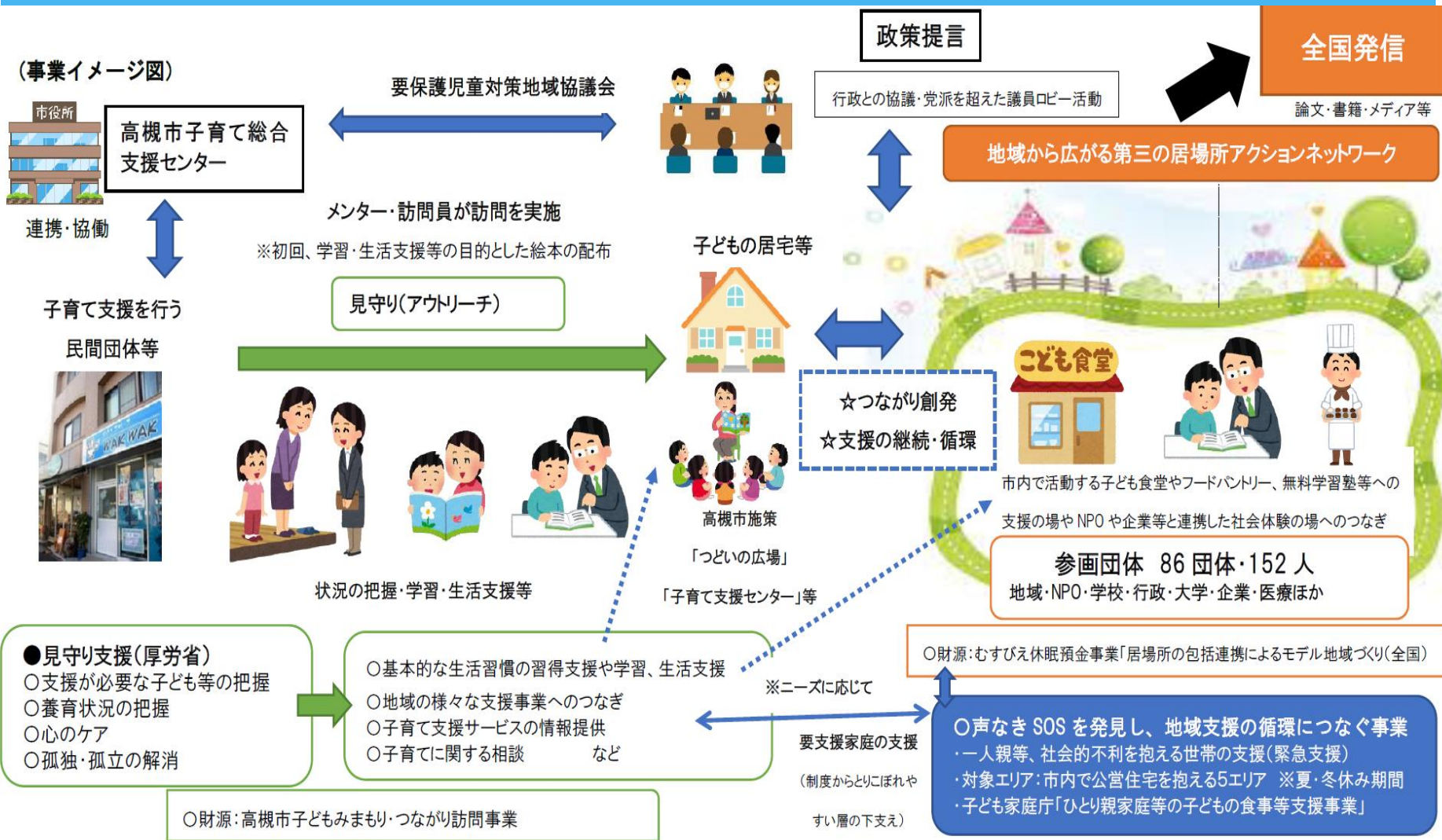
- 計7回の訪問員研修
- 計2回の実務者研修
- 隔月ごとの振り返りの場

「高槻市の子育て支援」「子ども理解・親理解」「傾聴」「絵本を通して」「いろいろな背景に思いをはせて」などの7回の訪問員研修と実際に訪問員として携わっていただく方々を対象に2回の実務者研修の計9回を対面、オンラインのハイブリッド形式で実施。

※事業後も訪問員事後研修を継続実施中(計4回)

○高槻市域における官民連携による包摂の仕組み

-3つの事業を有機的に組み合わせ包摂(誰も取りこぼさない)の仕組みをつくる-



NHKかんさい熱視線



かんさい熱視線

共有

概要 放送予定 配信 過去のエピソード



○NHK(地上波)

2023年7月21日(金)午後7時半～

※再放送 土 11時15分～

「検証・神戸6歳男児遺棄事件
なぜ命を救えなかったのか」



解決方法の一つとして高槻市と
の官民連携事業を放映。

NHK青森 あっふるワイド

- 未就園児の虐待を防ぐには -



2024年3月7日

初回放送日: 2024年3月7日

未就園児の虐待防ぐには。事件担当記者が解説▽ビルの屋上で津波をしのぎ58枚の写真を撮影した男性が語り部に託した思い▽むつ市の中学校で「英語だけで話す日」

▽保育施設などに通っていなかった5歳女児が水を浴びせられて死亡した事件が八戸市でありました。「未就園児」を守るにはどうすればよいのか、自治体の取り組みを事件を担当した記者が解説▽シリーズでお伝えしている「語り部の言葉」。ビルの屋上で津波をしのぎ58枚の写真を撮影した男性が語り部に託した思い▽むつ市の中学校で「英語だけで話す日」

○NHK (地上波)

2024年3月7日 (木) 午後6時10分～

「未就園児の虐待を防ぐには」



解決方法の一つとして高槻市との
官民連携事業を放映。

日本地域福祉学会「地域福祉優秀実践賞」受賞

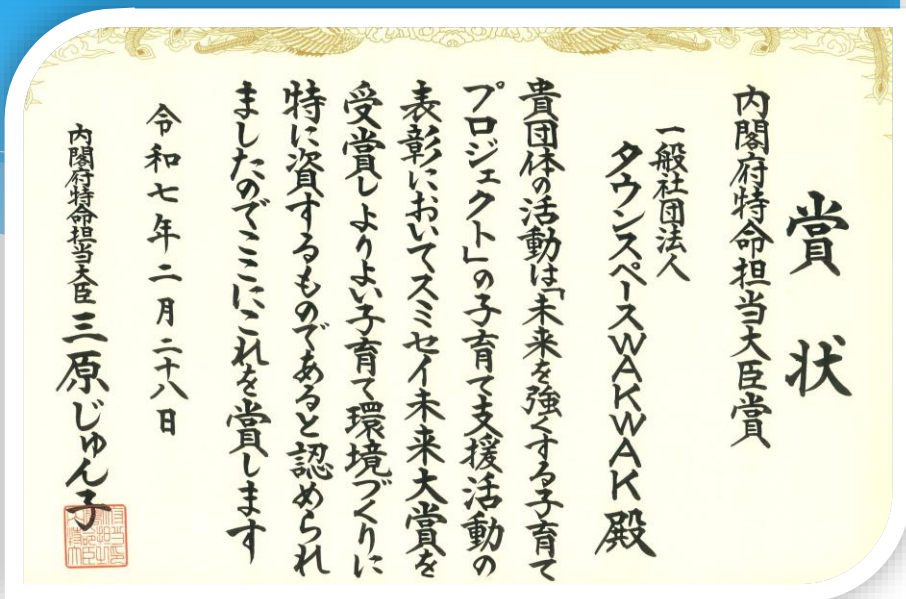


この賞は2004年度に地域福祉の優れた実践を顕彰するために設置された賞。今回で第21回目。加納恵子先生(関西大学)よりご推薦いただき受賞する運びとなりました。

2024年度6月15日-16日に開催の日本地域福祉学会第38回大会(東京大会)の授賞式に出席させていただき、その後報告会にて実践報告。

○「高槻市における官民連携による
包摂型地域づくりに対応した先駆的実践」

スミセイ「内閣府特命担当大臣賞」受賞



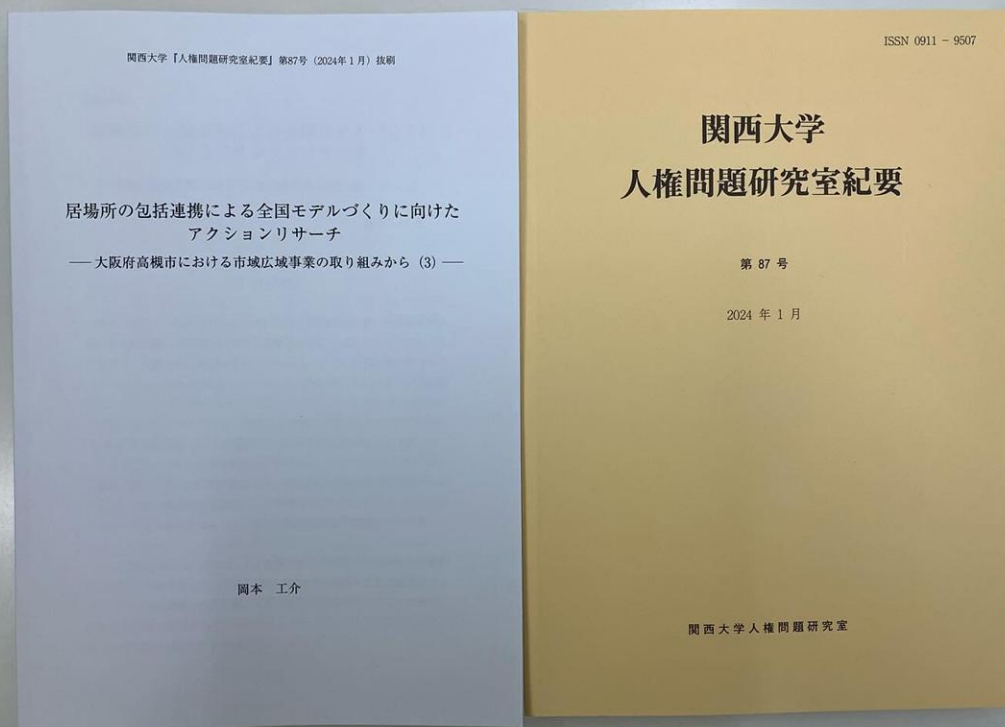
○三原じゅん子内閣府特命担当大臣の表彰授与



- 住友生命が行う第18回「子育て支援活動の表彰」受賞。
- 2025年2月28日に東京国際フォーラム会館にて。

○選考委員「自分達独自の活動に加えて、まちづくりや地域全体の生活支援など幅広く取りくんでいる点やネットワーク形成を高く評価させて頂いた。」

学術発信：関西大学紀要論文



『新型コロナ禍、支援対象児童等の見守り構築に向けたアクションリサーチ
：大阪府高槻市における市域広域事業の取り組みから』

Action research for supporting children under covid 19 pandemic situation. : Focus on the support project at Takatsuki city Osaka

『ひとりぼっちのいない町をつくる』発刊



ひとりぼっちの いない町をつくる

貧困・教育格差に取り組む
大阪・高槻富田の実践に学ぶ

岡本工介

解題・志水宏吉
協力・一般社団法人タウンスペースWAKWAK



ひとりぼっちのいない町をつくる
貧困・教育格差に取り組む
大阪・高槻富田の実践に学ぶ

人と人がつながり、団体と団体がつながり、
居場所と居場所がつながっていけば、
「ひとりぼっちのいない町」はつくれる。
そんな希望を、WAKWAKはわたしたちに与えてくれる。

湯浅 誠

(認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長)

- 岡本工介 (著), 志水宏吉 (解題)
- 発行 タウンスペースWAKWAK
- 2024年5月発行
- 明石書店



ご清聴いただき
ありがとうございました。